

入場
無料

抗疲労のすすめ

2015 年 10 月 31 日 (土) 13:30 ~ 17:00

慶應義塾大学 薬学部芝共立キャンパス 2 号館 記念講堂
(東京都港区芝公園 1-5-30)

定員 250 名 (先着順)

講演 1 渡辺 恭良 先生 理学化学研究所 ライフサイエンス技術基盤センター センター長

半年以上持続する疲労(慢性疲労)で苦しんでいる人達が国民の40%近く存在するにも関わらず、これまで、「疲労・慢性疲労」に対する本格的な医学・科学の取組は少なかった。慢性疲労は、日常生活における様々なストレスの延長線上にあり、未病の最たるもので先制医療の大きな対象でもある。この講演では、疲労とくに慢性疲労の分子神経メカニズムについて解説し、現代少子超高齢化社会に対し、「抗疲労」、すなわち、よりよい疲労回復法や過労予防法について我々が取り組んでいる「健康科学イノベーション」の立場からいくつかの試みについてお話しする。



渡辺 恭良 先生 プロフィール

1980 年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。大阪バイオサイエンス研究所・神経科学部門研究部長などを経て、1999 年より大阪市立大学大学院医学研究科・システム神経科学教授。2008 年からは独立行政法人理化学研究所分子イメージング科学研究センター長、2013 年には国立研究開発法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター長に就任。

講演 2 六反 一仁 先生

徳島大学大学院医歯薬学 研究部 病態生理学分野 教授

ストレスと疲労の克服

ストレス・ストレス関連疾患の評価を遺伝子のレベルから研究しています。また、受験や仕事のストレスでお腹の調子を悪くしてしまった方も多いかと思いますが、脳と腸が互いに連絡を取り合っていることを維持する「脳腸相関」と呼ばれる機能を活用し、整腸作用に加え、ストレスも緩和するという研究もしております。

六反 一仁 先生 プロフィール

1988 年京都府立医科大学大学院医学研究科修了。米国ペンシルベニア大学に留学。京都府立医科大学講師などを経て、2003 年に徳島大学医学部内に日本で初めて新設されたストレス制御医学分野の教授に就任。

講演 3 田島 世貴 先生

兵庫県リハビリテーション中央病院 センター医長 子どもの睡眠と発達医療センター

日本よ、眠りで疲労大国から脱却しよう

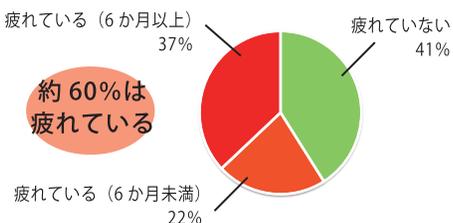
疲れているのに睡眠が浅く、疲労が回復しないことはよく経験します。また、慢性疲労症候群患者の多くが何らかの睡眠異常を抱えていることから、睡眠を慢性疲労症候群の診療・研究の切り口と考えています。睡眠中の副交感神経の働きが弱いために疲れが回復しないことが分かってきました。講演ではこの睡眠と疲労の関係について解説する予定です。

田島 世貴 先生 プロフィール

1998 年佐賀医科大学医学部卒業。熊本大学大学院医学研究科修了。大阪市立大学医学部疲労クリニックセンター、関西福祉科学大学健康福祉学部などを経て 2009 年から現職。

Q. あなたは疲れていますか？

1998 年の厚生労働省の疫学調査によると、疲労感を自覚している人の割合は、約 60% (愛知県豊川保健所管内の 2 市 4 町、15 才 ~ 65 才の男女 4000 人への疲労調査研究班調べ) でした。さらに、疲労を感じている約 60% の人のうち、37% の人が 6 か月以上も疲れを感じたままの慢性疲労を感じていることが明らかになりました。



市民公開シンポジウム「抗疲労のすすめ」参加予約のお申込み

047-329-3563

受付時間：朝 9 時 ~ 夕方 17 時 30 分まで (土日・祝休み)

お申込みの際、「お名前」、「参加登録券送付先住所」、「参加人数」をお伝えください。(ご案内の目的以外にこれらの個人情報を使用することはありません)

研修薬剤師制度について 本シンポジウムは、財団法人日本薬剤師研修センター 2 単位 (3 時間) の会合です。認定シールをご希望の方は参加申し込みの際にお申し出ください。

主催

特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構
〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13 市川総合病院 角膜センター内

<http://www.hab.or.jp>

後援：日本医師会、東京都医師会、日本内科学会、日本疲労学会、日本ストレス学会、日本臨床ストレス応答学会、日本消化器病学会、日本睡眠学会、日本小児科学会、港区 (予定)

共催：慶應義塾大学薬学部

メールで

information@hab.or.jp

お申込みの際、メールの件名に「市民公開シンポジウム事前参加申し込み」本文に「お名前」、「参加登録券送付先住所」、「参加人数」を明記してご送信ください。(ご案内の目的以外にこれらの個人情報を使用することはありません)

エイチ・エー・ビー (HAB) とは

エイチ・エー・ビーとは、Human & Animal Bridging の略で「ヒトと動物の架け橋」という意味です。病気ややすりの研究では実験動物とヒトとの種差のため大きな隔りがあり思わぬ副作用が起こったりして大きな社会問題ともなります。エイチ・エー・ビー研究機構はこの隔りを埋めるために、ヒト組織や細胞を用いた研究が必要不可欠であるという情報を、市民の皆様発信し共に考えていく団体です。